

天文部



鏡筒をはずし、解体して修理しています。



「うわー、すごい！」初めて月を観測しました

天文部は2009年度、屋上天文ドームの大改修をおこないました。折しも2009年は、あのガリレオ＝ガリレイが自作の小さな望遠鏡を初めて夜空に向けてから400年にあたる記念すべき年でした。屋上天文台は傷みもはげしく、これまで20年近く使用されてなかったのですが、部員一同毎日放課後、ドームと望遠鏡本体のサビ落としからはじめて、全体の修復に取り組みました。その結果何とか使用できるまでになりました。口径は330ミリメートル（高校では文句なく県下一です）、焦点距離2365ミリメートルのニュートン式巨大反射望遠鏡です。さっそく月と木星の観望をおこないましたが、その迫力には圧倒されます。望遠鏡をのぞいてみた人は必ず、歓声をあげます。聞けば高梁高校天文台は1970年代にかつてのOBや地元有志の方々によってつくられました。新たに天文部員を増やし、これからも活動を活発にしていきたいと思っています。そして近い将来、天文台の一般公開などを実施して、高梁の星の美しさを地元のみなさんにも広めていきたいと思っています。